

視察調査・研修会等報告書

令和 6年 5月 23日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名(福田 幸平

研修・視察年月日	令和 6年5月20日 ~ 令和 6年5月22日
研修会場・視察先	福島県郡山市 郡山市役所 山形県東根市 まなびあテラス 山形県長井市 旧長井小学校 第一校舎
研修名・視察目的	郡山市:こども医療費全額回収について 東根市:まなびあテラスについて 長井市:旧長井小学校第一校舎の有効活用について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	郡山市: 市民部 国民健康保険課 課長補佐 [REDACTED]、係長 [REDACTED] [REDACTED] 医療事業係 主査 [REDACTED]、議会事務局 総務議事課 主査 [REDACTED] 東根市: 生涯学習課 課長 [REDACTED] 文化振興主査 [REDACTED] まなびあ テラス 館長 [REDACTED]、統括責任者 [REDACTED]、議事課 主任 [REDACTED] 長井市: 政策推進参与 [REDACTED] 総合戦略室 主査兼係長 [REDACTED]、 [REDACTED] 副議長 金子豊美様、議会事務局 副主幹 [REDACTED]
参加議員(同行者)	関 良平、小川 亘、福田 洋一、篠崎 佳之、 福田 幸平、高橋 栄、廣瀬 武蔵
調査概要	・郡山市:こども医療費全額回収について 健康保険証の変更時等に出してしまう「不当利得金」を徴収する業務で多くの労力と時間を要していたが、囑託職員の一言で手続きを簡素化し市民からのクレームや職員の負担軽減、収入未済件数の改善がみられた。 ・東根市:まなびあテラスについて これまで駅舎に併設された図書館しか有していなかった東根市が、市民からの要望を受け 図書館・美術館・市民ギャラリー・都市公園からなる複合施設を整備した。建設・運営は PFI 事業にて特別目的会社 (SPC)である株式会社メディアゲートひがしねに管理運営業務を委託。維持管理・運営に参加する企業が設計段階から参画、効率的な施設となり 手御コストで質の高いサービスを提供している ・長井市:旧長井小学校第一校舎の有効活用について 建設当時、市民有志から提供された浄財により建設された 国登録有形文化財 旧長井小学校第一校舎を解体するか免振補強するか議論と

視察調査・研修会等報告書

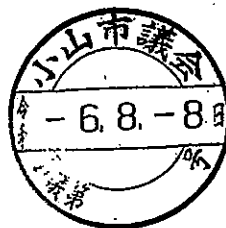
	<p>なったが 最終的に保存し、有効活用する事となった。全国的に珍しい小学校敷地内に隔てることなく利用している。指定管理委託をしており、学びと交流の場として活用すると同時に中心市街地の活性化に寄与している。</p>
<p>市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等</p>	<p>全国自治体で課題となっている 窓口業務、まちづくりや人口減少対策、中心市街地活性化の様々な取組をご教授頂き、大変参考になった。どの案件も 地方自治体で抱える問題に対し、効率化や民間との協働(指定管理者制度や PFI 方式)で政策を実現している例が多かった。</p> <p>今後の市政運営で今回学んだことを生かして行きたい。</p>

視察調査・研修会等報告書

令和 6年 8月 7日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名(福田 幸平)

研修・視察年月日	令和 6年8月4日 ~ 令和 6年8月6日
研修会場・視察先	福井県三方上中郡若狭町 福井県年縞博物館 福井県福井市 福井市役所 富山県高岡市 高岡市役所
研修名・視察目的	三方上中郡若狭町:福井県年縞博物館について 福井市:小中学校における学力向上のための学校教育について 高岡市:新高岡駅周辺整備事業について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	年縞博物館: 展示案内員(ナビゲーター) [REDACTED] 福井市: 副議長 村田様、学校教育課 課長補佐 [REDACTED]、教育総務課 [REDACTED] 議会事務局 庶務課 主幹 [REDACTED] 高岡市: 議長 本田様、都市創造部 都市計画課 市街地整備係長 [REDACTED] 総務係長 [REDACTED] 議会事務局 議事調査係 主事 [REDACTED]
参加議員(同行者)	関 良平、福田 洋一、篠崎 佳之、 福田 幸平、高橋 栄、廣瀬 武蔵
調査概要	<p>・三方上中郡若狭町:福井県年縞博物館について ラムサール条約登録湿地である「三方五湖」。その一つ「水月湖」で偶然発見された歴史のものさし「年縞」。湖底にできた年縞は三方五湖の類まれな地形といくつもの偶然により形成された堆積物により約7万年の歴史を正確に刻んでおり、「奇跡の堆積物」と呼ばれている。周辺の環境や風景に配慮しながら建てられた博物館は 2020 年に日本建設業連合会主催の第 61 回 BCS 賞の一つに選ばれている。また、2021 年 3 月に、公益財団法人日本博物館協会が顕彰する「第 2 回日本博物館協会賞」の受賞が決定した。</p> <p>・福井市:小中学校における学力向上のための学校教育について 小中学生の全国学力・学習状況調査で 秋田・新潟と並び 学力水準の高さが際立つ福井市。カリキュラムの充実もさることながら、特に目立っているのが「家庭環境」や「社会環境」の充実が大切なのが分かる。福井では基本的な生活習慣を身につけている子の割合が比較的高く、学習・運動面においてもプラス思考がみられる。その結果、学力のみならず運動面においても全国平均を大きく上回っている。家庭環境においては、共働き世帯率が全国 1 位であるが、三世代同居率も全国 2 位である。</p>

視察調査・研修会等報告書

	<p>就業率も高く、女性就業率は全国 1 位である。一世帯あたりの収入は高く、全国 4 位である。平均寿命も全国平均を大きく上回っている。</p> <p>※このことから、祖父母が大きく貢献していることがわかる。</p> <p>これからの日本にとって、高学力・安心・安全な国づくりに重要なのは、まず、家庭環境であり、地域社会と学校教育が子供達をサポートしている構図が浮かび上がる。</p> <p>・高岡市・新高岡駅周辺整備事業について</p> <p>北陸新幹線の開通が大きく影響している「新高岡駅周辺整備」。旧市街との距離がある「分離駅型」でまちづくりが行われており、新高岡駅周辺には「イオンモール」や「済生会高岡病院」、「高岡スポーツコア」などの人流誘導施設が次々と出来ており賑わいを見せている。その反面 旧市街の人口や地価は減少しており、今後の課題となっている。</p>
<p>市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等</p>	<p>小山市で今後対応しなければならない「博物館建設」「教育振興」「駅周辺整備」の各分野で様々な工夫をされている各市の経緯と現状、今後の展望などをご教授頂き、大変参考になった。今回伺った自治体は小山市とも状況が似ており、そのような点でも良いケーススタディとなったと思う。</p> <p>今後の市政運営で今回学んだことを生かして行きたい。</p>

視察調査・研修会等報告書

令和 6年 10月 21日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名(福田 幸平)

研修・視察年月日	令和 6年 10月 9日～10月 11日
研修会場・視察先	岩手県盛岡市内丸 13-1 トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館) 福島市役所(福島県福島市五老内町 3-1)
研修名・視察目的	全国市議会議長会 研究フォーラム ・主権者教育の新たな展開 福島市:特色ある幼児教育・保育プロジェクト
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	こども未来部 幼稚園・保育課 主幹 [] 氏 同部 同課 幼保支援係長 [] 氏 議会事務局 事務局長 [] 氏、議事調査課調査係 [] 氏
参加議員(同行者)	フォーラム:篠崎佳之、橋本守行、嶋田積男、高橋栄、細野大樹、廣瀬武蔵 福島市:橋本守行、嶋田積男、高橋栄、細野大樹、廣瀬武蔵
調査概要	<p>・研究フォーラム:主権者教育の新たな展開</p> <p>① パネルディスカッション「地方議会の課題と主権者教育」 議員のなり手不足や地方議会への関心の薄さが問題になっている。各方面で主権者教育に取り組んでいる、静岡大学の井柳美紀氏をコーディネーターとして進行し、法政大学の土山希美枝氏、(一社)WONDER EDUCATION の越智大貴氏、読売新聞の渡辺嘉久氏、盛岡市議会議長の遠藤政幸氏に考えを伺い、主権者教育の位置づけ、若者の政治・社会への意識と主権者教育の必要性、政治参加への意識付け、盛岡市での主権者教育の取組事例を披露して頂き、その後①地方議会における主権者教育②今後の主権者教育に向けての提言を話し合っていた。</p> <p>② 課題討議「主権者教育の取組報告」 前日に続いて 主権者教育を進めるにあたり大切なことは何か。という事を主軸に、東北大学の河村和徳氏をコーディネーターとして進行し、伊那市議会の白鳥敏明氏、四日市市議会の師岡覚氏、山鹿市の服部香代氏から取組事例を披露して頂き、「シチズンシップ教育」の重要性や社会参加・政治参加の窓口に議会が出来ることをお話し頂いた。</p> <p>・福島県福島市:特色ある幼児教育・保育プロジェクト 福島市は単費でこのプロジェクトを実施。事業の目的として①共生社会</p>

視察調査・研修会等報告書

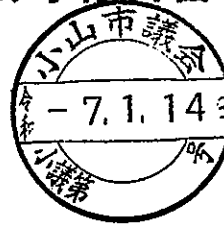
	<p>を目指す、②自然環境を生かす、③心身の健康増進および身体機能向上を目指す、④芸術・文化・伝統に関する、⑤ICT の活用・地域との連携など、その他特色ある教育・保育と認められる事業に対して補助(1/2、上限 120 万円)し、こどもの個性を伸ばす特色ある教育・保育を保護者が選ぶ機会を拡充させている。</p>
<p>市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等</p>	<p>今、地方自治体は少子高齢化の対策が必須であり、今後の地方自治を担う若い世代の政治離れは深刻である。今回の研修で今行われている主権者教育では参加意識の醸成を生み出す事は出来ないことを痛感した。議会や議員が行う事の出来る主権者教育の事例や社会全体でどのように政治参加の大切さを伝えればよいのかを考えさせられた。</p> <p>また、幼児教育・保育の特色ある教育方針を積極的に活用を促す事で、業界全体の活性化、市の魅力アップ、移住者に対するアピール度が高まる、などの効果が出て用効果が表れる事を知った。</p> <p>今後今回学んだことを地元でどのように導入したらよいか考慮し反映して行きたい。</p>

視察調査・研修会等報告書

令和 7年 1月15日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様



議員氏名(福田 幸平)

研修・視察年月日	令和 7年1月8日 ~ 令和 7年1月10日
研修会場・視察先	大分県中津市 中津市役所 宮崎県延岡市 延岡市役所 宮崎県宮崎市 宮崎市役所
研修名・視察目的	中津市: 6次産業化の取組について 延岡市: ICT化・スマートシティ化について 宮崎市: 市議会 DX プロジェクトチームについて
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	中津市: 議長 相良様、産業経済部商業・ブランド推進課 課長 [REDACTED]、統括主幹 [REDACTED] 延岡市: 議長 早瀬様、企画部 スマートシティ推進室 室長補佐 [REDACTED]、事務局 政策調査係 [REDACTED] 宮崎市: 議会事務局 総務課 課長 [REDACTED]、議事調査課 政策調査室 主査 [REDACTED] 主査 [REDACTED]
参加議員(同行者)	関 良平、福田 洋一、福田 幸平、 荒井 覚、森田 晃吉、廣瀬 武蔵
調査概要	<p>・中津市: 6次産業化の取組について</p> <p>中津市における各産業の連携強化、商品の付加価値や所得・雇用の増加、農村及び市全域の活性化等を目途として「なかつ6次産業創生推進協議会」を設置。同時に「なかつ6次産業ネットワーク会議」を設置し、意見交換や研修会等を実施し、商品開発支援や会員同士の交流の場の提供等を行っている。そこから生まれた「おおいた・なかつ六次産業ブランド」やネットショップ「なかつ燦燦市場」にてPRしている。現在は新たにセレクトブランド「九州中津逸品もん」を今年度創設し、販売促進を目指している。</p> <p>・延岡市: ICT化・スマートシティ化について</p> <p>国の「スーパーシティ型国家戦略特別区域」に指定される事を目指し、令和3年2月に「延岡市スーパーシティ構想準備協議会」を設立。令和3年8月に選定を受けスマートシティ推進事業がスタート。デジタル実装タイプ5項目と地方創生推進タイプ2項目を「デジタル田園都市国家構想推進交付金(通称:デジ田)」の採択を受け、デマンド交通・GISクラウドサービス構築・ポータルアプリ構築・救急搬送時情報共有システム</p>

視察調査・研修会等報告書

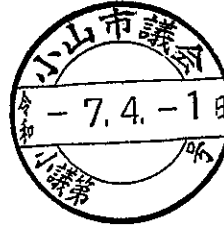
	<p>「QaaS(カーズ)」の運用・移住交流人口増進事業・新時代ヘルスケア推進・「空飛ぶクルマ」の医療・防災分野での活用・新マイキープラットフォームを活用した「行かない市役所」構築・災害にも強い市独自のネットワーク環境整備などを実施し、地域、所得、教育、地理的要因の「格差」をなくして行くことを目標に、スマートシティ政策の推進を実施している。</p> <p>・宮崎市：市議会 DX プロジェクトチームについて 九州に本社のある「Gcom ホールディングス株式会社」と政策や地方創生の支援を行っているコンサル会社「株式会社舩肥社中」と宮崎市議会が令和 3 年 12 月に『地方議会 DX 実証実験・研究にかかる連携協定』を締結。Gcom 社が開発した web サービスを利用し、議員の活動内容をスマートフォン等で閲覧可能としたほか、住民へのアンケートや住民から議会へチャットが出来る双方向機能等を利用し、「議会を身近に」をテーマに活動を展開した。現在同じ方法を三重県四日市市で実証実験中。</p>
<p style="text-align: center;">市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等</p>	<p>全国的に課題となっている「6次産業化」「スマートシティ」「議会のDX化」をそれぞれご教授頂き、小山市でもできる事やハードルの高いもの、執行部との共同研究が必要なものがそれぞれあった。少子高齢化に向かっている現在、どの事業も小山市として取り組む必要があると実感した。</p> <p>今後の市政運営で今回学んだことを考慮しながら取り組んで行きたい。</p>

視察調査・研修会等報告書

令和 7年 4月 1日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名(福田 幸平)

研修・視察年月日	令和 7年3月31日
研修会場・視察先	大阪府大阪市 北区梅田1-11-4 リファレンス大阪駅前第4ビル
研修名・視察目的	地方議員研究会 ・現場から視る家庭教育支援 ・現場から視る不登校支援
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	公認心理士、MIKURU・MIRU(ミクル・ミル) 代表 山下真理子 氏
参加議員(同行者)	高橋栄、廣瀬武蔵
調査概要	<p>・現場から視る家庭教育支援 少子高齢社会だからこそ求められる家庭教育支援について、現在の日本が置かれている状況の把握やこども家庭庁が創設されたことによる今後の様々な施策、家庭教育支援による不登校・引きこもり予防の実例などを学んだ。</p> <p>・現場から視る不登校支援 増加の一途をたどる不登校の現状や誰一人取り残さない不登校支援の施策や事例、ヤングケアラーなどの課題、不登校の実情などを学んだ。</p>
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	<p>国の施策のポイントや先進他市町村の事例、講師が実際に取り組んだ事例をもって 議員による指摘や後押しによって 行政が円滑に取り組めることなど、ポイントと先進事例などを学ぶことが出来た。</p> <p>今後の議員活動で今回学んだことを反映して行きたい。</p>